

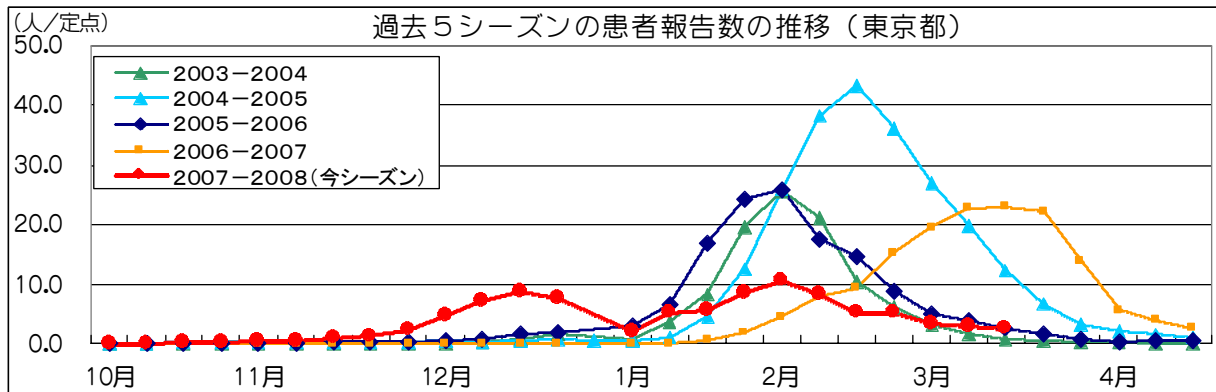
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

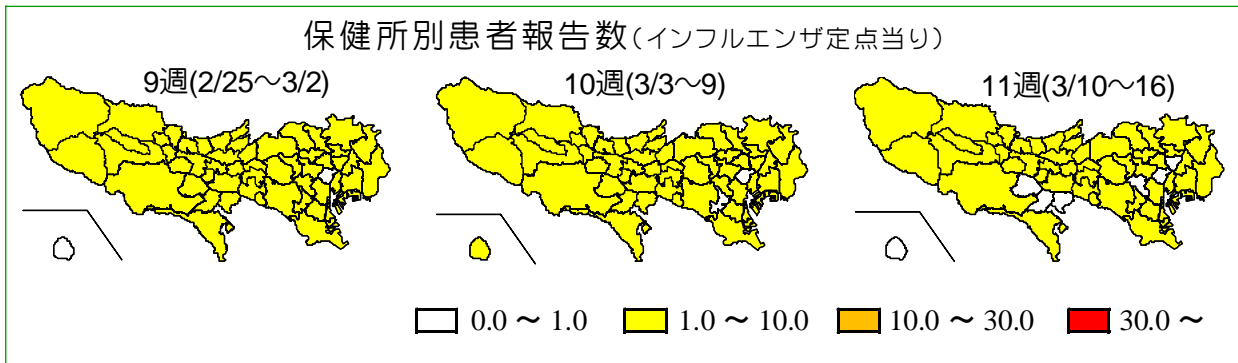
今号(第17号)のトピックス

- 第11週(3月10日から16日)のインフルエンザ患者報告数は 745人、
 定点当たり 2.59人 (昨年同期 定点当たり 23.00人)
- 3区5市で学級閉鎖
- 7県でインフルエンザ定点当たりの患者報告数が10人を超えている
- 東京都の流行規模は、全国で35位

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況

東京都におけるインフルエンザ定点*からの第11週(3月10日から16日)の患者報告数は、745人、定点当たり 2.59人です(昨年同期 定点当たり 23.00人)。インフルエンザの定点当たり報告数は6週連続して減少しています。過去5年平均の同時期と比較して半数に満たない報告数です。

全国の患者報告数は 22,934人、定点当たり 4.83人です。全国の定点当たり患者報告数も減少しています。

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
36-9週 (9/3-3/2)	692	188	171	9	8
10週 (3/3-9)	30	11	6	2	3
11週 (3/10-16)	42	13	5	7	1
合計			182	18	12

2 都内学校の学級閉鎖状況

3月9日から15日に、世田谷、杉並、練馬、立川、青梅、府中、東大和、あきる野の3区5市でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖がありました。

3 東京都と全国の検査情報

(2007年9月以降)

3月16日までに、感染症発生動向調査事業により当センターに搬入された検体から、AH1亜型が182件、AH3亜型が18件、B型が12件、PCR法により検出されています。

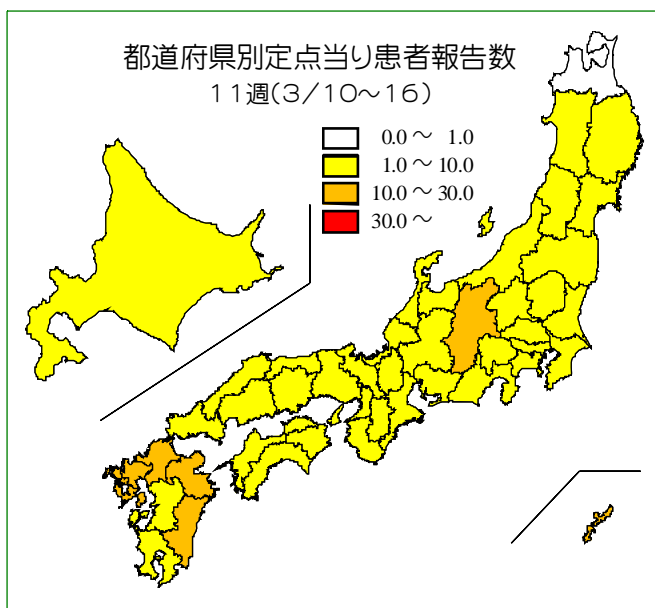
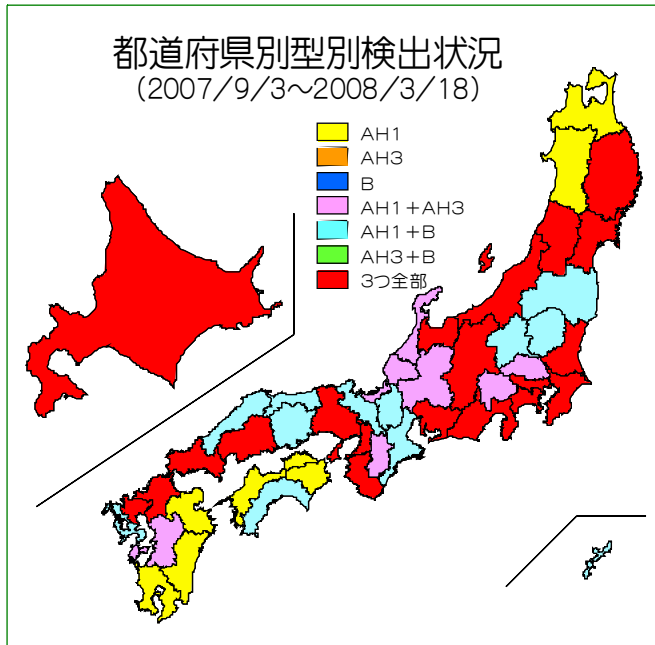
国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)等によると、3月18日までに、全都道府県からAH1亜型、27都道府県からAH3亜型、32都道府県からB型が報告されています。

今回新たに、AH1亜型が熊本県から、AH3亜型が福井県から、B型が岡山、鳥取の2県から報告されました。

4 全国の流行状況

第11週(3月10日から16日)現在、沖縄(19.00)、宮崎(16.10)、長崎(15.34)をはじめとする7県が、注意報発令の基準値であるインフルエンザ定点当りの患者報告数10人を超える状況にあります。

東京(2.59)は全国で35番目になっています。



◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL:03-3363-3213

FAX:03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/